

2018年12月5日

一般社団法人日本UAS産業振興協議会
ブルーイノベーション株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

保険＋ドローン飛行支援地図サービス『SORAPASS care』を販売 ～飛行支援地図サービスと保険をセット化、ドローン飛行の安全を促進～

一般社団法人日本UAS産業振興協議会（所在地：東京都文京区、理事長：鈴木真二 以下：JUUDA）、ブルーイノベーション株式会社（本社：東京都文京区、社長：熊田 貴之、以下ブルーイノベーション）、および損害保険ジャパン日本興亜株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：西澤 敬二、以下損保ジャパン日本興亜）は、保険＋ドローン飛行支援地図サービスをセット化した「SORAPASS care」を12月5日*より販売します。

ドローン飛行の安全のための保険とドローン飛行支援地図サービスに、手間をかけず同時に簡単に加入できます。また、業務用、ホビー用どちらの用途もカバーするドローン保険は国内初となります。

1. 背景・目的

「空の産業革命を拓く」とまで言われるドローンは限りない可能性を秘めていることから、様々な分野においてその利活用が急速に進んでいます。一方で、ドローンは自らの飛行情報を他者へ発信・共有する機能を備えておらず、ドローン同士の衝突や有人機との衝突による事故を防ぐためにも、ドローンの位置情報をリアルタイムで把握、共有することが喫緊の課題となっています。

JUUDAとブルーイノベーションは、飛行前に飛行禁止エリア、気象情報を確認でき、国への申請書・報告書の作成をサポートするドローン飛行支援地図サービス「SORAPASS」（WEB版）を2016年5月より提供しておりますが、このような背景から、ホビー・商用にかかわらずドローン利用者自らが自機の使用状況、緊急連絡先を発信し、他者と飛行エリアを共有する機能を新たに開発、損保ジャパン日本興亜が提供する保険とセット化し「SORAPASS care」をサービス提供します。

2. 『SORAPASS care』のメリット・特長

- ・ドローン飛行支援地図サービスに保険をセット化することで、事故リスクの軽減が図れるだけでなく、ワンストップのトータルサービスを実現しました。
- ・自分の飛行エリアの発信、他機との飛行エリアの共有が可能のため、ドローン利用者同士や有人機、ドクターヘリ等ドローン利用者以外への情報提供ができ、事故を未然に防ぎます。
- ・飛行禁止エリア、飛行可能施設の最新情報を閲覧できます。
- ・【国内初】本サービスの保険では、業務用、ホビー用どちらの用途もカバーします。
- ・万が一事故が発生した場合でも、アプリ上に表示された事故連絡先に迅速に報告できます。



※Android版は本日(12月5日)よりGoogle Playにて公開。iOS版は12月6日よりApple Storeにて公開。
サービス利用料金は税込5,000円/年(保険料込)です。

3. ドローン飛行支援地図サービス「SORAPASS care」の概要

(1) 【新機能】自分の飛行エリアの発信機能(アプリ版のみ)

飛行開始時に、自分のドローンの飛行エリアを発信することにより、他者と飛行情報を共有することができます。

(2) 【新機能】他者の飛行エリアの確認機能(アプリ版のみ)

地図上で他者の飛行情報を確認することにより、未然に事故を防ぐことができます。

(3) 【新機能】飛行禁止エリア地図表示機能(WEB版・アプリ版)

法令等で定められる飛行禁止エリア(空港周辺や人口密集地等)に加え、石油コンビナートなどの飛行危険エリアの情報を最新の地図情報上に表示します。また、天気情報や3D情報も閲覧することができます。

(4) 【新機能】飛行可能施設のご紹介(WEB版・アプリ版)

ドローンの利用可能な JUIDA 試験飛行場について、最新の情報にアクセスできます。

(5) 飛行申請書・報告書作成サポート機能(WEB版のみ)

飛行が禁止されるエリアでも、飛行許可申請を取得することでドローンを飛行させることが可能となります。

(6) 操縦者情報、ライセンス情報、機体情報の管理(WEB版のみ)

自身の操縦者としての情報、取得されているライセンス情報(JUIDA 操縦技能ライセンス等)や機体の情報を登録し管理することが出来ます。

※詳細については、SORAPASS care の WEB サイト https://www.sorapass.com/information/care_lp.html を参照ください。

4. 保険商品の概要

(1) 補償対象者

- ・『SORAPASS care』への申込みを行った個人。
- ・『SORAPASS care』への申込みを行った個人が所属する法人、および、個人事業主

(2) 主な補償内容

趣味利用・業務利用を問わず、ドローンの所有・使用・管理に起因した事故により、他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりしたことによって、補償対象者が法律上の賠償責任を負った場合に1億円を限度に保険金をお支払いします。

(3) 提供方法

『SORAPASS care』の申込みと連動して、賠償責任保険が自動的に付帯されるため、ユーザーは個々に保険加入の手続きを行う必要はありません。

以上

ご参考

◆ 『SORAPASS care』 の画面イメージ

目視範囲内(半径300m以内)の他者位置情報を共有出来ます。



© 2018 ZENRIN CO., LTD.

◆ 保険商品の補償内容

補償内容	施設賠償責任保険 業務利用	個人賠償責任保険 ホビー利用
保険商品名		
主な被保険者(補償対象者)	SORAPASS careの加入者 加入者が所属する法人、および、個人事業主	SORAPASS careの加入者
保険期間(補償対象期間)	1年間	1年間
基本補償	1事故につき1億円	1事故につき1億円
作業対象物補償	1事故につき1億円	-
人格権侵害	被害者1名につき100万円 1事故・保険期間中1,000万円	-
支払限度額		
事故対応特別費用	保険期間中1,000万円	-
操縦訓練費用	保険期間中10万円	-
第三者医療費用	被害者1名につき50万円 保険期間中1,000万円	-
免責金額 (自己負担額)	なし(0円)	なし(0円)

■一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA) 概要

一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA)は、近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム(UAS)の、民生分野における積極的な利活用を推進し、UAS 関連の新たな産業・市場の創造を行うとともに、UAS の健全な発展に寄与することを目的として、2014 年 7 月に設立されました。JUIDA は、国内外の研究機関、団体、関係企業と広く連携を図り、UAS に関する最新情報を提供するとともに、さまざまな民生分野に最適な UAS を開発できるような支援を行っています。

代表者: 理事長 鈴木真二

URL: <https://uas-japan.org/>

■ブルーイノベーション株式会社 概要

「ドローン・ロボットを通じて、世界に貢献するグローバルカンパニーになる」をビジョンに掲げ、ドローンの先駆的サービス・プロバイダーとして、複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform (BEP) を基軸とした、点検、警備、物流、教育・安全、エンターテインメントの 5 つの分野でのサービスを展開しています。

代表者: 代表取締役社長 熊田貴之

URL: <https://www.blue-i.co.jp/>

■損害保険ジャパン日本興亜株式会社 概要

損保ジャパン日本興亜は、SOMPO ホールディングスグループの中核会社として、国内損保事業を展開しています。SOMPO ホールディングスグループの経営理念である「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供」を実現していくため、ドローンを始めとする近年の技術革新によるお客さまニーズや産業構造の変化に着目し、新たなビジネスモデルや新事業の創造を担う専門組織を新設するなど、既存事業の成長と新たな価値創造に向けたイノベーションを積極的に進めています。

代表者: 取締役社長 西澤 敬二

URL: <https://www.sjnk.co.jp/>